

# 議員と語りかい 報告書

(霧島 : No. 1)

開催日時	平成26年11月 6日 (木) 曜日 18時58分～20時32分
開催場所	霧島小学校
参加人数	10人
出席議員(5人)	中村 満雄、中馬 幹雄、池田 守、中村 正人、植山 利博
役割分担(4班)	班 長 (中村 満雄) 副班長 (中馬 幹雄) 記録係 (植山 利博)

## <意見交換会での主な意見等>

◆1. 仕事場がなく、若者がいなくなった。昔は長男が家を守るということで、地元に残った。現在では介護が自分の子どもから見てもらえない社会になった。少子化の中にあって、結婚の問題も重要だ、市がもっと積極的に婚活対策を行うべきだ。政府は地方創生を謳っているが、議員がもっと先取りをして将来を見据えた活性化策の具体策を示すべきだ。本日の出席者が少ないのも残念だ。市民ももっと関心を持つべきだ。

◇【議員回答】 1市6町の合併後、霧島市の人口は、微増から横ばい状態であるが、中山間地域から職場も多い単人、国分の中心部へ人口の移動が進んでいる。特に若者において傾向が特徴的である。移住定住対策で単人、国分の中心部から、周辺部へ移り住まわれる方々に補助金を出す政策も最近行っている。婚活対策については、民間団体に市が補助金を出している。

一般質問等で、様々な地域活性化や、地域の経済振興の具体的な提案もなされている。

議員と語りかいへの出席者が少ないことは、これまでも議論がなされ対策を検討しているが、なかなか成果が表れていない。今後も引き続き議会としても多くの市民が関心を持ち、出席者が増加するような努力をしたい。

◆2. JRやななつ星等をもっと活用した地域おこしや、活性化を考えるべきだ。JR、空港との二次アクセスが不便だ。霧島市内全域をネットワークする公共交通システムの構築が必要だ。

◇【議員回答】 JRや空港から、市内観光スポットへの二次アクセスが不便だとの指摘があるのは事実だ。ふれあいバスや循環バス、デマンド交通など、公共交通システムの総合的な再編計画等の検討を求めている。

◆3. 霧島杉安病院入口の市道や里道の整備と維持管理が必要だ。

◆4. 道路の白線がほとんど消えている箇所が見受けられ、危険だ。早急な対応が必要だ。

◆5. 霧島東中跡地の整備が進んでいるが、芝の植栽をしてほしい。議員にもぜひ現場を見てほしい。

◆6. 国立公園の記念碑の近くにある池に、以前は150匹を超える鯉がいたが、現在は10数匹しかいないようだ。池のふちが壊れているので、池のふちを少し上げて池の整備をしてほしい。

◆7. 坊主墓(華林寺)の整備と適正な維持管理が必要だ。平成24年ごろ霧島市の文化財の指定を受けているはずだ。

(霧島 : No.2)

◇【議員回答】市道や里道の整備、白線の引きなおし、グラウンドの整備や芝の植栽、等地域の抱える具体的なハード面や、ソフト事業推進については、地区自治公民館単位で地域まちづくり支援事業を活用し、地域まちづくり計画を作成し、地域の皆さんの総意で優先順位を明確にして市に対して要望されることが早い事業推進になります。